

子供の未来応援国民運動  
—貧困の連鎖の解消を目指して—  
自治体の皆様へのお知らせと御協力をお願い



子供の未来は日本の未来

平成28年1月  
内閣府子供の貧困対策推進室

# 子供の貧困対策の重要性

・子供の貧困を放置すれば、いわゆる「貧困の連鎖」が生じ、社会を支えていくはずの子供たちが、支えられる側になる恐れがある。

・貧困の連鎖は、子供の将来が閉ざされるのみならず、人材の減少や市場の縮小、社会保障費の増大といった少子高齢化の負の影響に拍車がかかる。



## 《参考》

- ・子供の貧困対策により、現在15歳の子供のうち貧困の状況にある子供の進学率及び中退率が現状が改善した場合、生涯所得の合計額が2.9兆円増え、政府の財政が1.1兆円改善するとの推計がある(日本財団及び三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる推計)。

・将来、社会の担い手となる子供たちの未来を応援することは、我が国の未来を明るく活力あるものにするために必要な「未来への投資」。

・子供の貧困対策を総合的に推進するためには、地域における教育分野・福祉分野等の多様な関係者の協力を得つつ、地域の実情に即した効果的な施策に取り組むことが重要。

# 政府における子供の貧困対策の充実

平成25年

6月26日 子供の貧困対策の推進に関する法律 公布（全会一致で可決成立）

平成26年

1月17日 子供の貧困対策の推進に関する法律 施行

8月29日 子供の貧困対策に関する大綱 閣議決定

平成27年

4月2日 子供の未来応援国民運動 発起人集会

- 子供の未来応援国民運動趣意書を採択
- 総理から、ひとり親家庭の自立支援等のため、施策の充実について、夏を目途にその方向性を取りまとめ、年末を目途に財源確保を含めた政策パッケージを策定するよう指示

8月28日 子供の貧困対策会議（国民運動の始動の時期等を了承）

10月1日 子供の未来応援国民運動 始動

- ホームページ（支援情報ポータルサイト、マッチングサイト等）の開設、基金への募金受入れ開始

10月19日 子供の未来応援国民運動 発起人会議

- 「子供の未来応援基金への御協力について」を決議

11月26日 「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策—成長と分配の好循環の形成に向けて—」をとりまとめ

12月22日 子供の貧困対策会議（「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」を決定）

# 子供の未来応援国民運動と主要事業

## 子供の貧困対策大綱（抜粋）

子供の貧困対策が国を挙げて推進されるよう、国、**地方公共団体**、民間の企業・団体等による**ネットワークを構築**し、各種支援情報等の収集・提供や子供の貧困対策に関する優れた取組等に対する表彰事業の実施、民間資金を活用した支援など**官公民の連携・協働プロジェクト**を推進する。また、このような取組や既存の制度・施策等について積極的に情報発信し、国民の幅広い理解と協力の下に**子供の貧困対策を国民運動として展開**する。

法律及び大綱に基づき、国民の力を結集して  
全ての子供達が夢と希望をもって成長していける社会の実現を目指し  
子供の未来応援国民運動を始動

### 支援情報ポータルサイト

国、都道府県、市区町村等が行う子供の貧困対策（支援情報）を一元的に集約した上で、地域別、属性等別、支援の種類別に検索できる総合的なポータルサイトを整備。

### 支援活動と支援ニーズの マッチングサイト

CSR活動等を行う企業等の支援リソース（こういった支援が出来るという登録）と、NPO等が抱えているニーズ（こういった支援が欲しいという登録）の双方を掲載し、相互に検索できるようにすることで、マッチングさせる仕組みを構築する。

### 子供の未来応援基金

子供の貧困対策を「慈善事業」にとどまらず、「未来への投資」と位置づけ、寄付金をはじめとする企業や個人等からの提供リソースを基金として結集し、草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行う「未来応援ネットワーク事業」等を行う。